



「あしなが学生募金」

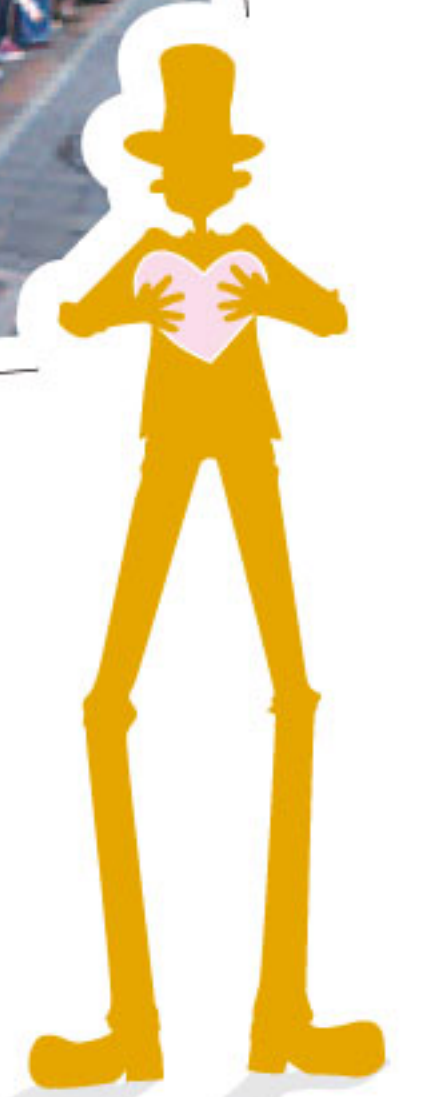


4月23日(土)、私たちはあしなが学生募金に参加した。あしなが学生募金とは、NPO法人「あしなが育英会」が行っている活動である。主に災害や病気、自殺などで親を失った学生、あるいは重度後遺障がい者の親をもつ学生の学業継続を支援するための募金活動をしている。

今回は、3月11日に起きた東日本大震災への支援を目的とした「あしなが東日本大地震・

津波遺児募金」を行った。あしなが育英会の調査では東日本大震災で親が亡くなるか行方不明になった震災遺児世帯のうち、およそ半数が母子家庭で、両親ともいない家庭も19%に上る事がわかった。また子供たちを支える保護者が、19歳から90歳まで幅広い年代にわたっている事も判明している。

23日は、私たちの他にもAPUの学生や、市内の高校生も参加した。この活動の目的をたくさんの方が理解し、募金をしてくれてとても嬉しかった。募金をしてくれた人は小さい子供から年配の方まで様々な人がいた。また、募金活動を行っている時に「頑張ってください」と声をかけてもらい、この活動にやりがいを感じた。中には、一度は通り過ぎていったけれど戻ってきて募金をしてくれる方や、「少



ししかない」と言いながらも財布のお金を全額寄付してくれた方などがいた。人の優しさや温もりを感じ、人と人の繋がりやの深さを改めて実感する事ができた。このようにたくさんの方の思いが、被災者の方々へ少しでも伝わり支えとなればいいと感じた。

written by 梶野 愛衣、岩尾 真美

(情報コミュニケーション学科 1年)

